

■ 知的・発達障害をご存知ですか？

知的・発達障害は、脳の一部に障害が生じたことが原因でおこると考えられており、そのために言葉を使う、記憶する、抽象的なことを理解することが難しく、知的な遅れが伴うこともあります。また社会の仕組みや流れにうまく適応することが苦手で、暮らしにくさを抱えている人もいます。しかし、一人ひとりのちがいに合わせた必要な支援や言葉がけによって、できるようになることもたくさんあります。

■ 具体的にはこのような特性をもっている方もいます。

抽象的な言葉は理解しにくい

例えば「コップにちょっと水をいれて」の「ちょっと」という言葉が理解できません。



具体的に伝える

印をつけて具体的に示したり、身振りやイラストを見せて話すと伝わりやすくなります。

手先が不器用

道具を使うことが苦手な人、ひもがうまく結べなかったり、字や絵をかくことが苦手な人もいます。



ゆっくりゆったり見守る

ゆっくりゆったり取り組めるような言葉がけや、逆に声をかけることで気が散る方は黙って見守るようにしてください。

興味のある物しか見えていないことも

例えば、キラキラ光る物が好きな人はキラキラするアクセサリを身につけている人を見ると、その物しか見えず触りに行ってしまうことも。相手が迷惑な顔をしていても全く気づきません。



はっきり伝える

周りの人に迷惑をかけている場合は「やめてください」と具体的にはっきりと伝えると理解できます。



■ 知的・発達障害について、楽しく知って理解を深めていただくためのワークショップを行っています。

●聞こえ方・見え方の違い

どんなふうに聞こえているの？

どんなふうに見ているの？

●コミュニケーションが苦手

言葉がわからない

伝わらないってどういうこと？

●覚えられない・書けない・読めないってどんな気持ち？



こういった疑似体験を通して、当事者の気持ちや障害のこと、知ってみませんか。自治会での会議、伊丹市交通局、児童クラブや夏休みボランティア体験講座等出張講座の実績があります。年齢や理解度に応じた伝え方も相談可能です。講師料や日程等はお相談ください。

■ お問い合わせ

伊丹市手をつなぐ育成会(アイ愛センター内)疑似体験隊「ぱする」

電話：072-770-5410 担当：小松